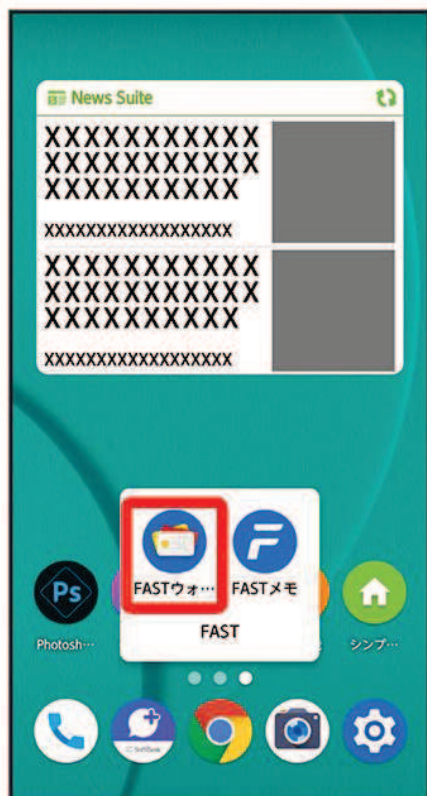


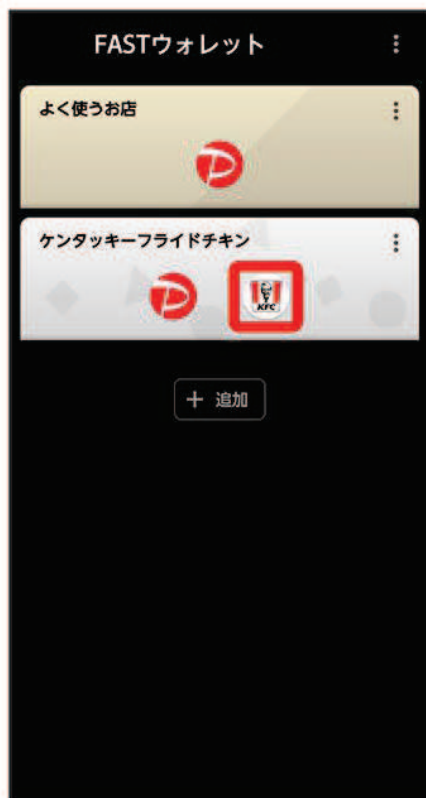


 FASTウォレット画面が表示されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

利用するアプリアイコンをタップ



🚩 選択したアプリが起動し、起動したアプリの上に次に起動するためのアプリアイコンが表示されます。

- アプリアイコンは表示位置から近いほうのディスプレイの端に向かってフリックすると最小化できます。最小化したアイコンをタップすると元の大きさに戻ります。

FASTメモを利用する

本機のロック画面からすばやくテキストメモや音声メモを登録したり、カメラを起動して写真をメモとして保存したりすることができます。

↓ FASTメモを起動する

↓ FASTメモを確認する

FASTメモを起動する

1

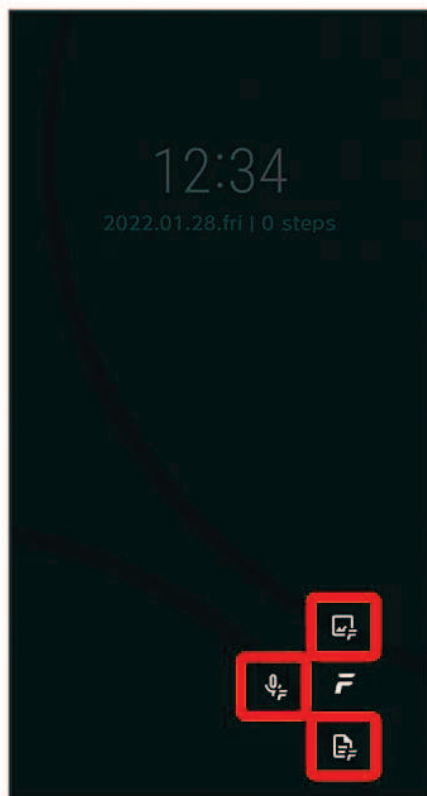
ロック画面でを左にドラッグ



 FASTメモメニューが表示されます。

2

 /  /  に指を合わせて離す



 選択したメモが起動します。

3

画面の指示に従って操作

4

保存する / 保存

 メモが保存されます。

FASTメモを確認する

1

ホーム画面で📄(FAST) ➡ 📄(FASTメモ)



🚩 FASTメモ画面が表示されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

メモをタップ



🚩 選択したメモが表示されます。

-   テキストメモ / 音声メモ / 写真メモ をタップすると、メモを作成できます。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

radiko+FMを利用する

インターネット経由で、今いるエリアで放送しているラジオ番組を聴いたり、アナログFMラジオに切り替えて聴いたりすることができます。

アナログFMラジオを聴く場合は、アンテナとしてイヤホンの本機のステレオイヤホン端子に接続しておく必要があります。

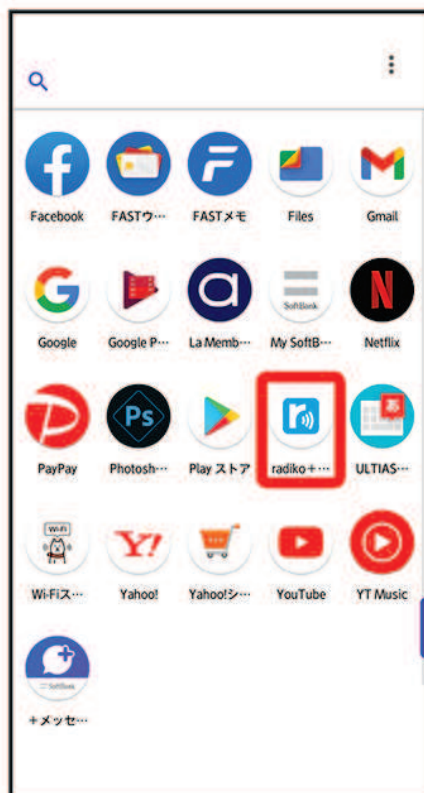
ケーブルの長さが0.6m～1.5m程度のものを使用してください。安定したFMラジオ受信のためには、1m以上のケーブルを推奨します。

↓ ラジオを聴く

ラジオを聴く

1

ホーム画面を上フリック ➡ (radiko+FM)



インターネットラジオの番組表画面が表示されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

番組をタップ



 選択した番組の画面が表示されます。

ラジオ利用時の操作

ラジオの楽しみ方を確認する

インターネットラジオの番組表画面で   ラジオの楽しみ方  画面の指示に従って操作

ヘルプを確認する

インターネットラジオの番組表画面で   画面の指示に従って操作

ゲームゾーンを利用する

ゲームを快適に、楽しくプレイするための機能や自分好みのカスタマイズができます。

↓ ゲームチューニングを行う

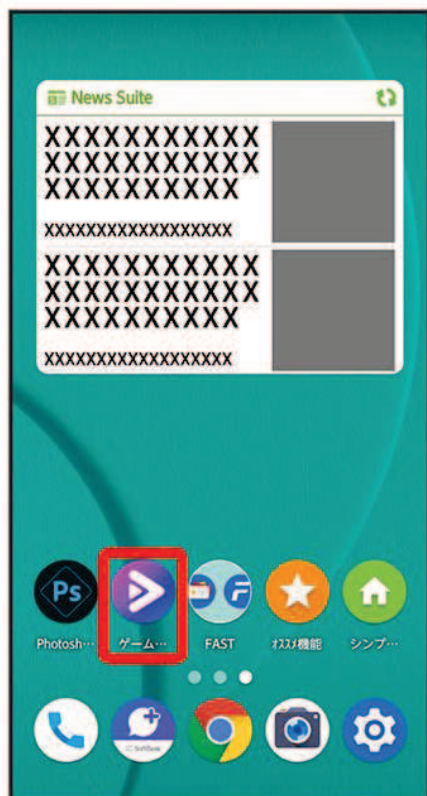
↓ ゲームゾーンメニューを開く

↓ ゲームゾーン画面の見かた

ゲームチューニングを行う

1

ホーム画面で▶(ゲームゾーン)



2

ゲームチューニング



🚩 ゲームチューニング画面が表示されます。

3

各項目を設定

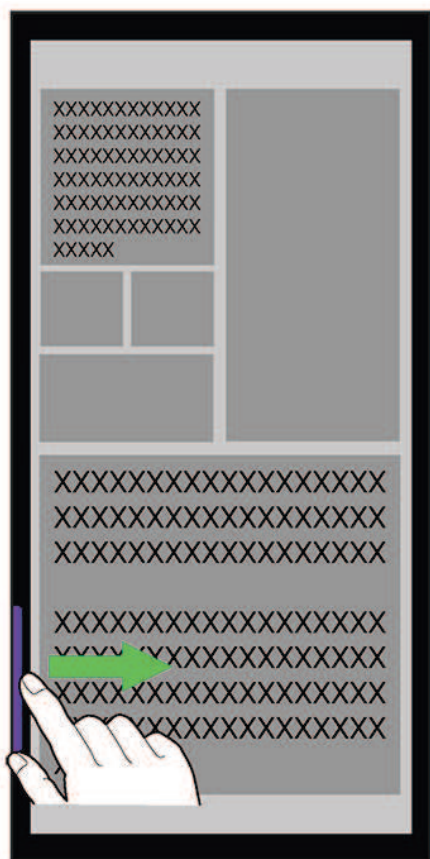


🚩 設定が完了します。

ゲームゾーンメニューを開く

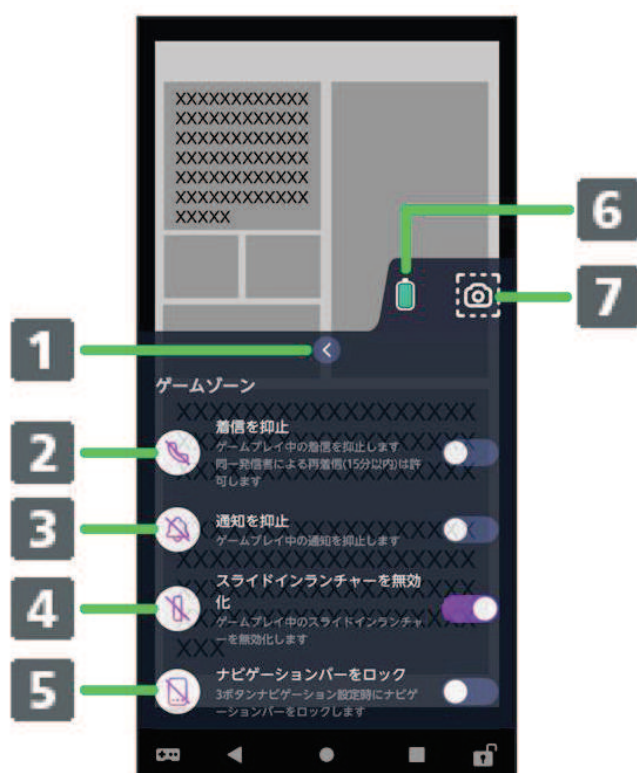
1

対象アプリを起動中に、画面左下を右にフリック



🚩 ゲームゾーンメニューが表示されます。

ゲームゾーン画面の見かた



- ① ゲームゾーンメニューを閉じる
ナビゲーションバーの🏠をタップしても、ゲームゾーンメニューを閉じることができます。
- ② 着信を抑止の有効／無効を切り替え
- ③ 通知を抑止の有効／無効を切り替え
- ④ スライドインランチャーを無効化の有効／無効を切り替え
- ⑤ ナビゲーションバーをロックの有効／無効を切り替え
ナビゲーションバーの🔒をタップしても、ナビゲーションバーをロックすることができます。
- ⑥ 電池残量
- ⑦ ゲーム中の画面を撮る



ゲーム中に撮った画面を確認する

ゲームチューニング画面でギャラリー

イミテーションコールを利用する

イミテーションコールとは、電話の着信や通話中を装うことができる機能です。
通信を伴わないため、電波状態に関わらず利用でき、通話料金もかかりません。

↓ イミテーションコールを利用する

イミテーションコールを利用する

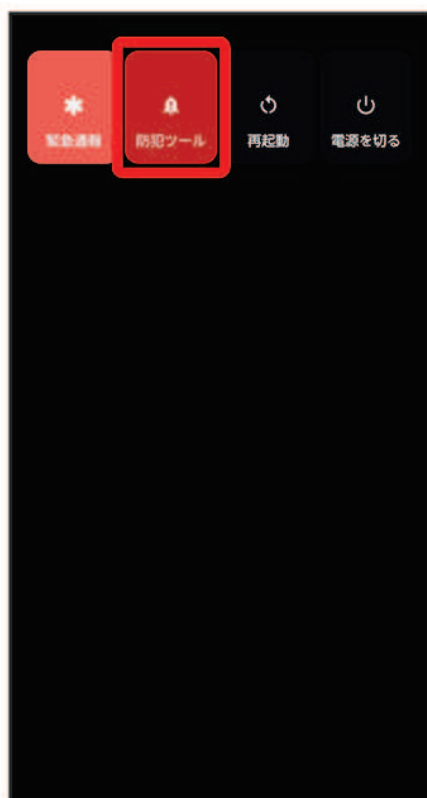
1

電源キー（長押し）



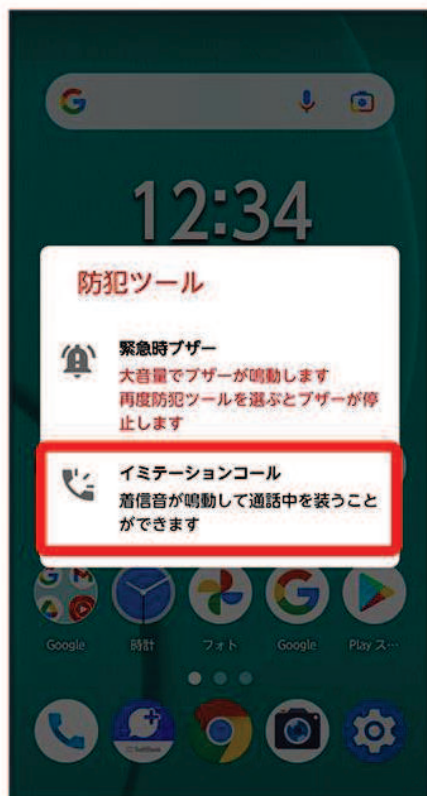
2

防犯ツール



3

イミテーションコール



着信音が鳴り、着信中画面に似た画面が表示されます。

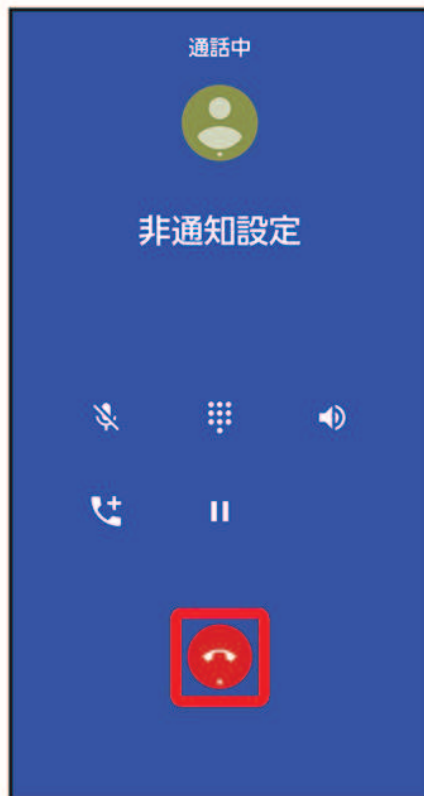
4



着信音が止まり、通話中画面に似た画面が表示され、イミテーションコールのガイダンスが受話口から流れます。

5

イミテーションコールを終了するときは



 イミテーションコールが終了します。

イミテーションコール利用時のご注意

イミテーションコール利用時は、次の点にご注意ください。

- イヤホンを接続していても本機から着信音が鳴ります。
- マナーモード中でも着信音が鳴動します。
- 着信音は固定です。
- イミテーションコール通話中は、 以外はタップできません。
- イミテーションコール中に次の動作があると、イミテーションコールが終了します。
 - ・本物の着信／発信
 - ・緊急時ブザー鳴動

緊急時ブザーを利用する

↓ 緊急時ブザーについて

↓ 緊急時ブザーを設定する

↓ 緊急時ブザーを鳴らす

緊急時ブザーについて

緊急時ブザーは、緊急時などに大音量のブザーを鳴らすことができる機能です。ブザーを鳴らしたとき、自動で電話をかけたり（自動音声電話発信）、SMSを送信できます（自動SMS送信）。

！ 緊急時ブザー利用時のご注意

緊急時ブザー利用時は、次の点にご注意ください。

- PINコードを有効にしている場合、本機を起動してから1度もPINコードを入力していないときは、ブザーは鳴りますが自動音声電話発信／自動SMS送信は動作しません。
- セキュリティ解除方法をなしまたはスワイプ以外に設定している場合、本機を起動してから1度も画面ロックを解除していないときは、ブザーは鳴りますが自動音声電話発信／自動SMS送信は動作しません。
- SIMカードを取り付けていないときは、ブザーは鳴りますが自動音声電話発信／自動SMS送信は動作しません。
- 緊急時ブザーの音量は調節できません。大音量で音が鳴りますので、ご使用の際はご注意ください。
- マナーモード中でも緊急時ブザーは動作します。
- 自動音声電話発信を行ったとき、通話中の操作が一部制限されます。
- 緊急時ブザー動作中の電話着信は次のようになります。
 - ・自動音声電話発信が有効のときは、登録している発信先番号からの電話着信のみ受けることができます（自動的に応答します）。発信先番号以外からの着信は拒否され、不在着信として記録されます。
 - ・自動音声電話発信が無効のときは、電話着信を受けることができます（自動的に応答しません）。
- 呼出中から約30秒経過しても相手の応答がないと、自動音声電話発信を中断します。発信先番号を複数登録しているときは、登録番号順に次の発信先に自動音声電話発信します。
- 緊急時ブザーは、周囲の注意をこちらに向けるためのもので、犯罪防止や安全を保障するものではありません。本機能を使用した際に、万が一損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

緊急時ブザーを設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
自動音声電話発信	緊急時ブザーを鳴らしたときに、指定の番号に自動で電話をかけるかどうかを設定します。
自動SMS送信	緊急時ブザーを鳴らしたときに、指定の番号に自動でSMSを送信するかどうかを設定します。
発信先番号の登録	自動音声電話発信／自動SMS送信を行う電話番号を3件まで登録します。

1

ホーム画面で   arrowsオススメ機能



 arrowsオススメ機能画面が表示されます。

2

緊急時ブザー



 緊急時ブザーの設定画面が表示されます。

3

各項目を設定

← 緊急時ブザーの設定

自動音声電話発信
緊急時ブザーを鳴動させた際に、指定の番号に自動で電話をかけます ☐

自動SMS送信
緊急時ブザーを鳴動させた際に、指定の番号に自動でSMSを送信します ☐

発信先番号の登録
自動音声電話発信/自動SMS送信の対象となる番号の登録を行います

① 電源ボタン長押しで防犯ツールから緊急時ブザーを選ぶと、ブザーを鳴動します
鳴動中のブザーは電源ボタン長押しで防犯ツールを選ぶと停止します

🚩 設定が完了します。

緊急時ブザーを鳴らす

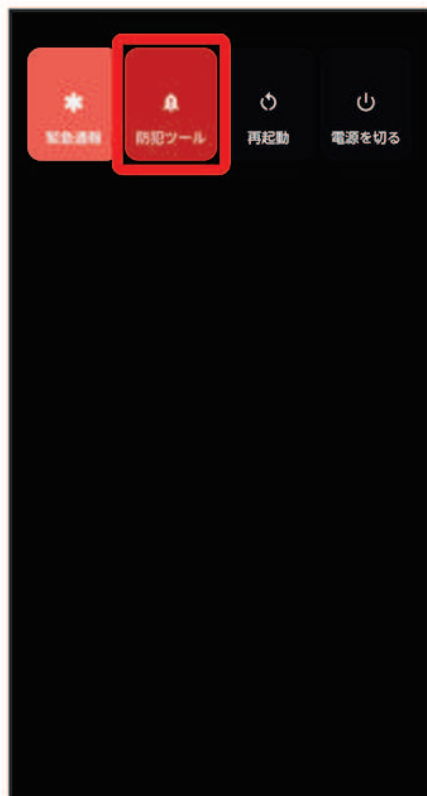
1

電源キー（長押し）

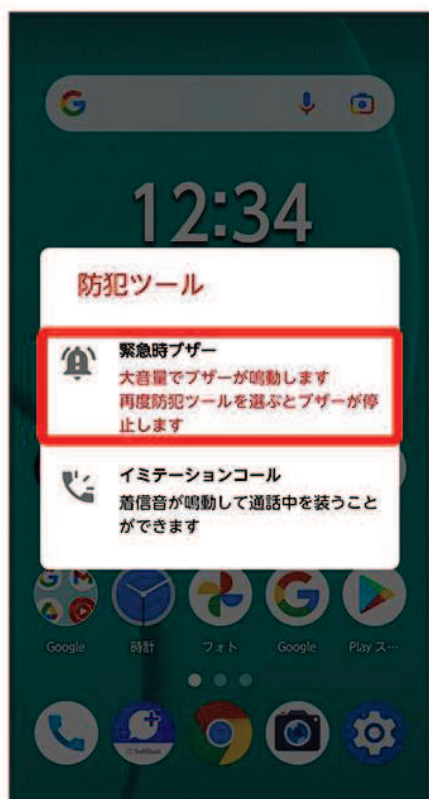


2

防犯ツール



緊急時ブザー



🚩 大音量でブザーが鳴ります。

ブザーを停止するときは、**ブザー鳴動停止**



 ブザーが停止します。

- 電源キー（長押し） **防犯ツール**とタップしてもブザーを停止できます。

緊急時ブザーが鳴っているときの動作について

「自動音声電話発信」が有効のとき

ブザーが鳴ると、発信先番号に自動で電話がかかります。相手が電話を受けるとブザー音は停止し、「緊急通話です」という音声ガイダンスが3回流れます。

音声ガイダンスが終了すると、再度ブザーが鳴ります。なお、相手の音声は聞こえません。

- 登録した発信先番号のいずれかの相手が電話を受けるまで、順次発信を繰り返します。
- 発信者番号の設定に関わらず、相手に自分の電話番号が通知されます。
- 自動音声電話発信を中止したり、音声ガイダンスや通話を終了するときは、 をタップします。

「自動SMS送信」が有効のとき

ブザーが鳴ると、登録している発信先番号に自動的にSMSが送信されます。

プライバシーモードを利用する

プライバシーモードを設定すると、ホーム画面に表示されるアプリや通知、着信をまとめて隠すことができます。

↓ プライバシーモードを設定する

↓ プライバシーモードを起動／解除する

プライバシーモードを設定する

設定できる項目は次のとおりです。

■ あらかじめ、セキュリティ解除方法をなしまたはスワイプ以外に設定しておいてください。

項目	説明
プライバシーモードの利用	プライバシーモードを利用するかどうかを設定します。
アプリを隠す ¹	プライバシーモード中に非表示にするアプリを設定します。
通知を隠す ¹	プライバシーモード中に通知を非表示にするアプリを設定します。
着信を隠す ¹	プライバシーモード中に着信を拒否する電話番号を登録します。
壁紙を設定する ¹	プライバシーモード中の壁紙を設定します。
切り替える指紋を設定する ¹	プライバシーモードを起動／解除する指紋を登録します。
プライバシーモードについて	プライバシーモードの使い方を確認できます。

1 プライバシーモードの利用が有効のときに設定できます。

1

ホーム画面で   arrowsオススメ機能



 arrows オススメ機能画面が表示されます。

2

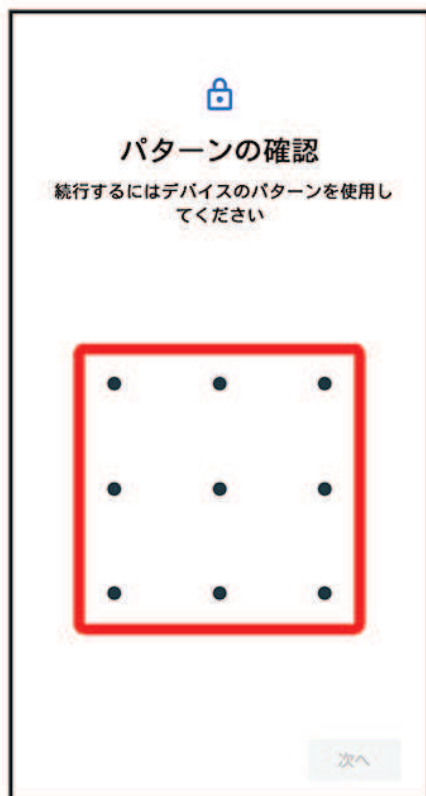
プライバシーモード



- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

3

パターン／暗証番号／パスワードを入力



 プライバシーモード設定画面が表示されます。

4

各項目を設定



🚩 設定が完了します。

➕ プライバシーモード利用時の操作

プライバシーモードを利用するかどうかを設定する

プライバシーモード設定画面で「プライバシーモードの利用」

- 「プライバシーモードの利用」をタップするたびに、有効(🔘)／無効(🔘)が切り替わります。

プライバシーモード中に非表示にするアプリを設定する

プライバシーモード設定画面で「アプリを隠す」➡ 非表示にするアプリの🔘(☑表示)

プライバシーモード中に通知を非表示にするアプリを設定する

プライバシーモード設定画面で「通知を隠す」➡ 非表示にするアプリの🔘(☑表示)

プライバシーモード中に着信を拒否する電話番号を登録する

プライバシーモード設定画面で「着信を隠す」➡ 番号を追加 ➡ 名前入力欄をタップ ➡ 名前を入力 ➡ 電話番号入力欄をタップ ➡ 電話番号を入力 ➡ 登録

- 📞 をタップすると、連絡先から名前と電話番号を登録できます。

プライバシーモード中の壁紙を設定する

プライバシーモード設定画面で「壁紙を設定する」➡ 壁紙 ➡ アプリ(フォトなど)をタップ ➡ 画面の指示に従って操作

プライバシーモードを起動／解除する指紋を登録する

プライバシーモード設定画面で「切り替える指紋を設定する」➡ プライバシーモードを起動／解除する指をタップ ➡ パターン／暗証番号／パスワードを入力 ➡ 次へ ➡ 指紋センサー

に指を当て、本機が振動したら離す → 完了 → 登録した指をタップ → + → プライバシー
オン / プライバシーオフ → 完了

プライバシーモードを起動／解除する

1

ステータスバーを下にフリック



通知パネルが表示されます。

2

時刻の右側を左右にフリック



🚩 プライバシーモードが起動／解除します。

- プライバシーモードが起動すると、ステータスバーの時刻が太字で表示されます。
- プライバシーモードを解除するときは、パターン／暗証番号／パスワードを入力、または指紋認証が必要です。

+ 登録した指紋でプライバシーモードを起動／解除する

ロック画面で、登録した指を指紋センサーに当てる

スライドイン機能を利用する

画面の端から指をドラッグして、表示されたランチャーからアプリを起動したり、画面をキャプチャしたり、画面を指でなぞって文字をコピーしたりできるように設定します。

↓ スライドイン機能を設定する

↓ スライドインランチャーに登録されたショートカットからアプリを起動する

↓ キャプメモを利用する

↓ なぞってコピーを利用する

スライドイン機能を設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
スライドイン機能	スライドイン機能を利用するかどうかを設定します。
スライドスポット(左)／スライドスポット(右) ¹	スライドスポット(ドラッグを始める位置)について設定します。
ランチャー設定 ¹	画面の端から指をドラッグしたときに表示されるランチャーについて設定できます。 ランチャーに登録したアプリが更新された場合、登録が解除されることがあります。
バイブレーション ¹	ランチャー表示時にバイブレータでお知らせするかどうかを設定します。
機能説明	スライドイン機能の使い方を確認できます。

¹ **スライドイン機能**が有効のときに設定できます。

1

ホーム画面で   **arrowsオススメ機能**



 arrows オススメ機能画面が表示されます。

2

スライドイン機能



 スライドイン機能画面が表示されます。

3

各項目を設定

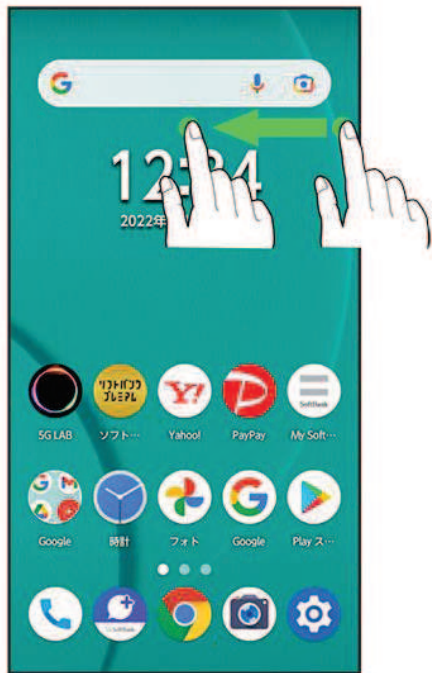


🚩 設定が完了します。

スライドインランチャーに登録されたショートカットからアプリを起動する

1

スライドスポットから画面中央へ向かって指をドラッグ

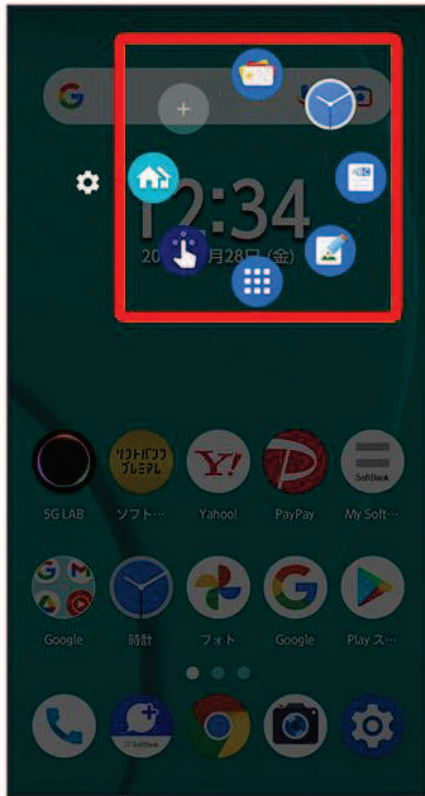


 スライドインランチャーのショートカットが表示されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

アプリをタップ



 選択したアプリが起動します。

-  をタップすると、スライドイン機能設定画面が表示されます。

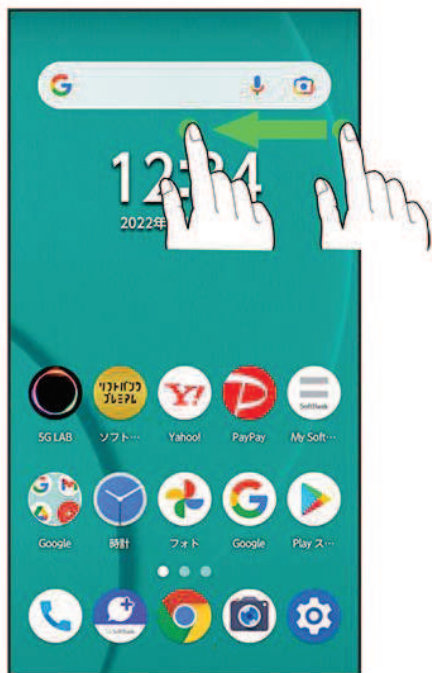
キャプメモを利用する

表示されている画面のスクリーンショットを撮って、画像として編集できます。また、他のアプリと共有することもできます。

- 一部、利用できない画面もあります。

1

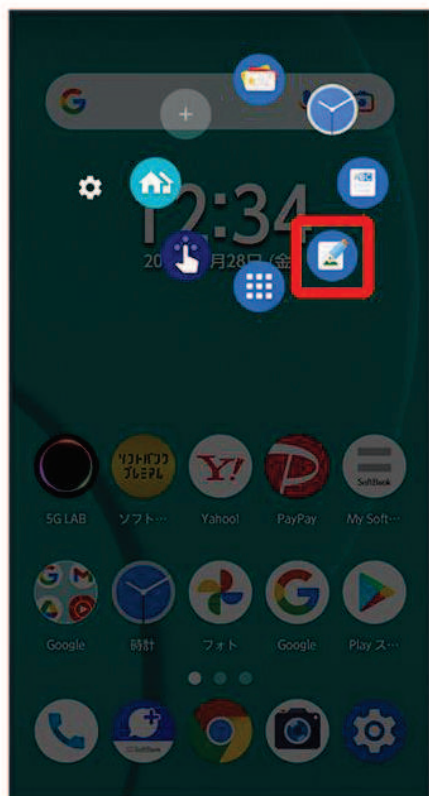
スライドスポットから画面中央へ向かって指をドラッグ



 スライドインランチャーのショートカットが表示されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2



 画像編集画面が表示されます。

3

編集操作 ➡ 保存



 編集が完了します。

- 編集した画像は、 (フォト) などから確認することができます。

他のアプリと共有する

画像編集画面で **共有** ➡ 画面の指示に従って操作

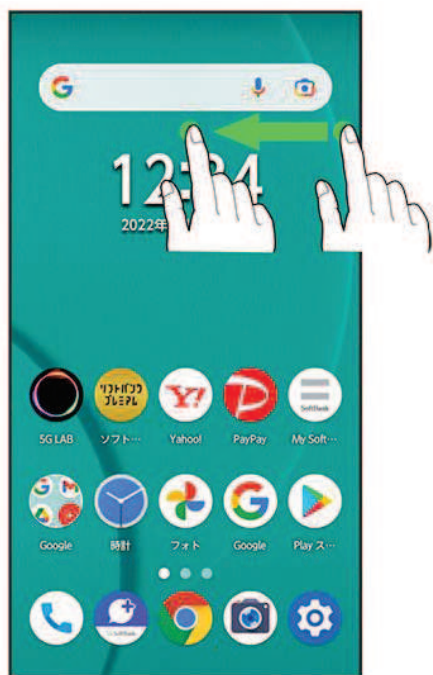
- **共有** の隣に表示されているアプリアイコンをタップしてもアプリを起動できます。

なぞってコピーを利用する

画面を指でなぞって選択した文字列をコピーできます。また、他のアプリと共有することもできます。

1

スライドスポットから画面中央へ向かって指をドラッグ

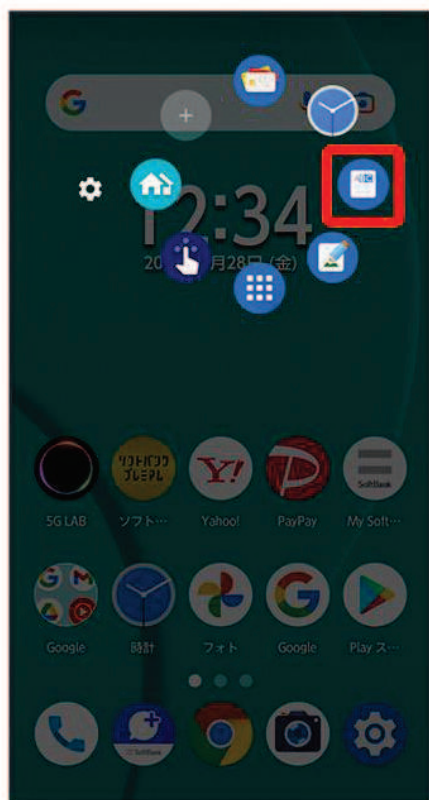


 スライドインランチャーのショートカットが表示されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2





3

コピーしたい文字列を指でなぞる



認識された文字にマーカーが引かれ、プレビューが表示されます(プレビュー画面)。

- プレビューをタップするとキーボードが表示され、文字を編集することができます。
- 指でなぞった文字列や背景画像によっては、正しく認識されないことがあります。

4

コピーする



文字がコピーされます。

-  /  をタップすると、プレビューの表示／非表示を切り替えることができます。 をタップすると、指でなぞった文字列の選択が解除されます。

他のアプリと共有する

プレビュー画面でアプリをタップ  画面の指示に従って操作

くつきり表示機能を利用する

表示画面内の文字が小さい文章ブロックなどを一時的に拡大させるくつきり表示機能について利用できます。

↓ くつきり表示機能を設定する

↓ 拡大操作を行う

くつきり表示機能を設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
くつきり表示機能	くつきり表示機能を利用するかどうかを設定します。
アイコン表示方法 ¹	くつきり表示機能のアイコンを常に表示するか、アイコンを自動的に表示するかどうかを設定します。 自動ONにしたときは、見やすさ補正強度設定で設定した見やすさ度合いに応じて、アイコンが自動的に表示されます。
アイコン表示アプリ指定 ¹	くつきり表示機能を利用するアプリを設定します。
見やすさ補正強度設定 ¹	見やすさ度合いを設定します。
アイコン初期表示位置指定 ¹	アイコンの初期表示位置を設定します。
機能説明	くつきり表示機能の使い方を確認できます。

1 くつきり表示機能が有効のときに設定できます。

1

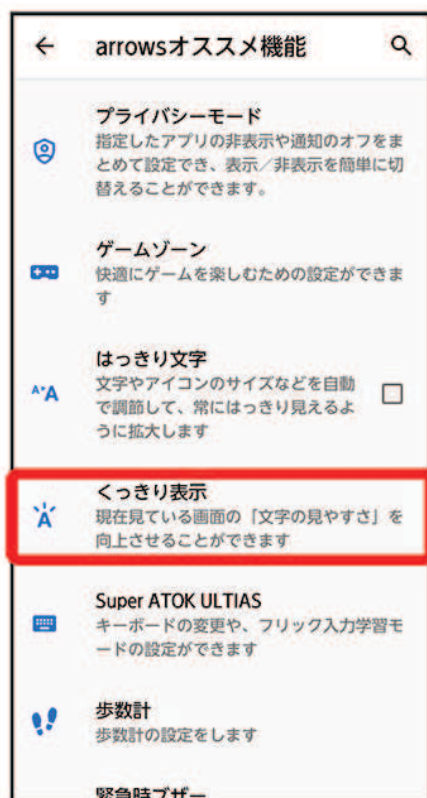
ホーム画面で   arrows オススメ機能



 arrows オススメ機能画面が表示されます。

2

くっきり表示



 くっきり表示画面が表示されます。

3

各項目を設定



🚩 設定が完了します。

拡大操作を行う

あらかじめ、くっきり表示機能を利用するアプリを設定しておいてください。ここでは、 (Chrome) でウェブサイトを表示させて、画面を拡大する方法を例に説明します。

1

ホーム画面で

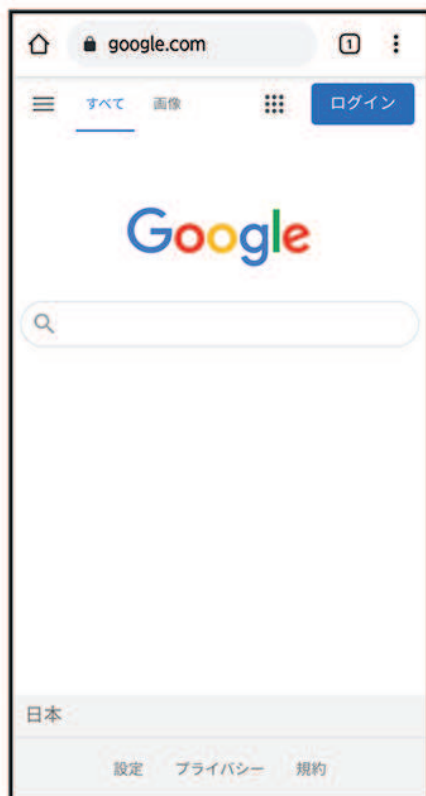


 Chrome画面が表示されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

2

ウェブサイトを表示



3



 画面全体が拡大表示されます(第1段階)。

-  をドラッグすると、アイコンの表示位置を変更できます。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

4

画面内の見えにくい位置をタップ



 タップした位置の周辺や文章ブロックがさらに拡大表示されます(第2段階)。

- 表示を元に戻すときは、第1段階の状態では  をタップします。第2段階の状態では、   と操作します。



くっきり表示機能利用時のご注意

くっきり表示機能利用時は、次の点にご注意ください。

- くっきり表示中は、アプリの操作はできません。
- カメラの撮影画面やマルチウインドウ画面表示中など、一部の表示画面では本機能が動作しないことがあります。
- くっきり表示中でも、表示画面によっては見えにくくなる場合があります。
- くっきり表示中でも、表示画面によっては横方向への拡大が動作しない場合があります。

データの保存について

↓ データの保存先について

データの保存先について

データの保存先として、内部ストレージとSDカードを利用できます。SDカードの取り付け／取り外しなどについては、「[SDカードについて](#)」を参照してください。
おもなデータの保存先は次のとおりです。

データの種類	説明
連絡先、ブックマーク、カレンダー、メール	データ作成時、内部ストレージに保存されます。
写真、動画	データ作成時、内部ストレージ／SDカードに保存されます。

バックアップと復元

↓ バックアップ／復元の方法について

バックアップ／復元の方法について

バックアップ／復元の方法は次のとおりです。

方法	説明
各アプリからの操作	アプリによって、設定を変更できるものもあります。
端末設定	 (かんたんお引越し)を利用して、ほかの機器でSDカードに保存したデータ(電話帳、スケジュール)を、本機に取り込むことができます。詳しくは、「 アプリ一覧 」を参照してください。
パソコンなどと接続	パソコンなどと接続して、データを転送できます。詳しくは、「 パソコンとUSBで接続する 」を参照してください。

かんたんデータコピーを利用する

↓ [かんたんデータコピーを利用する](#)

かんたんデータコピーを利用する

かんたんデータコピーについては、下記のソフトバンクのウェブサイトを参照してください。

<https://www.softbank.jp/mobile/service/datamigration/>

ほかの携帯電話からデータを取り込む

↓ [Bluetooth®でデータを受信する](#)

Bluetooth®でデータを受信する

Bluetooth®機能を利用して、ほかの携帯電話などからデータを取り込むことができます。
詳しくは、「[Bluetooth®でデータを受信する](#)」を参照してください。

ダウンロードしたファイルを利用する

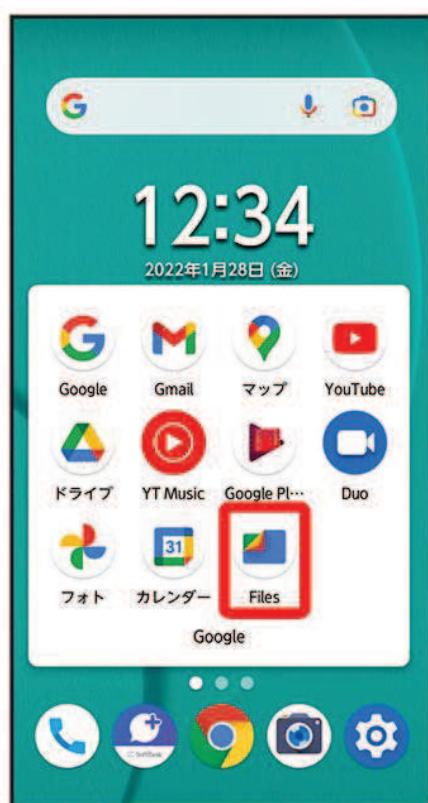
Chromeを利用してダウンロードしたファイルを管理することができます。

↓ [ダウンロードしたファイルを管理する](#)

ダウンロードしたファイルを管理する

1

ホーム画面で🌐(Google) ➡ 📁(Files)



- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

見る ➡ ダウンロード



🏠 ダウンロード画面が表示されます。

ドライブを利用する

Googleのオンラインストレージサービス「Google ドライブ」にファイルを保存したり、共有したりすることができます。

↓ ファイルを保存／共有する

ファイルを保存／共有する

1

ホーム画面で🌐(Google) ➡ 📁(ドライブ)



📁 ドライブ画面が表示されます。

 **利用方法を確認する**

ドライブ画面で  ➡ **ヘルプとフィードバック**

パソコンとUSBで接続する

本機とパソコンをUSB Type-Cケーブルで接続し、本機の内部ストレージやSDカード内のデータをパソコンで利用できます。

↓ 本機内のデータをパソコンとやりとりする

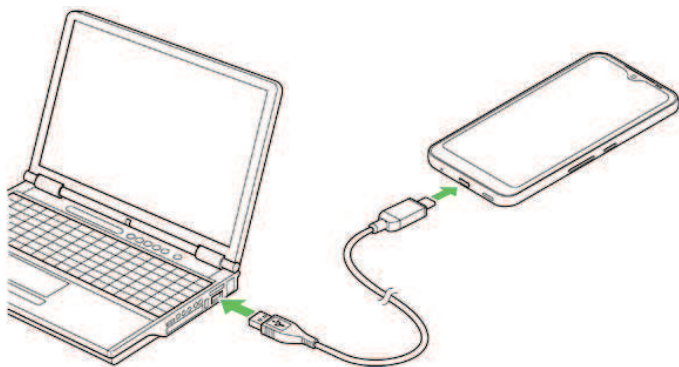
本機内のデータをパソコンとやりとりする

- データ通信中は、USB Type-CケーブルやSDカードを取り外さないでください。
- 次のようなモードで、パソコンとデータのやりとりができます。

モード	説明
ファイル転送	本機のデータをパソコンとやりとりすることができます(MTPモード)。
MIDI	本機をMIDI入力に使用します。
PTP	本機のデータをパソコンとやりとりすることができます。パソコンがMTPに対応していない場合、このモードを利用してください(PTPモード)。
充電	本機をパソコンと接続して充電のみ行うことができます。

1

本機とパソコンをUSB Type-Cケーブルで接続する



ファイル転送／PTP



🚩 本機がパソコンに認識され、ファイルをやりとりできるようになります。

Wi-Fiで接続する

本機はWi-Fi(無線LAN)に対応しており、ご家庭のWi-Fi環境などを通じて、インターネットを利用できます。

- ↓ アクセスポイントを選択して接続する
- ↓ 接続情報を手動で設定して接続する
- ↓ 接続中のアクセスポイントを削除する
- ↓ 保存したアクセスポイントを削除する
- ↓ Wi-Fi Directを利用する

アクセスポイントを選択して接続する

1

ホーム画面で 



2

ネットワークとインターネット



3

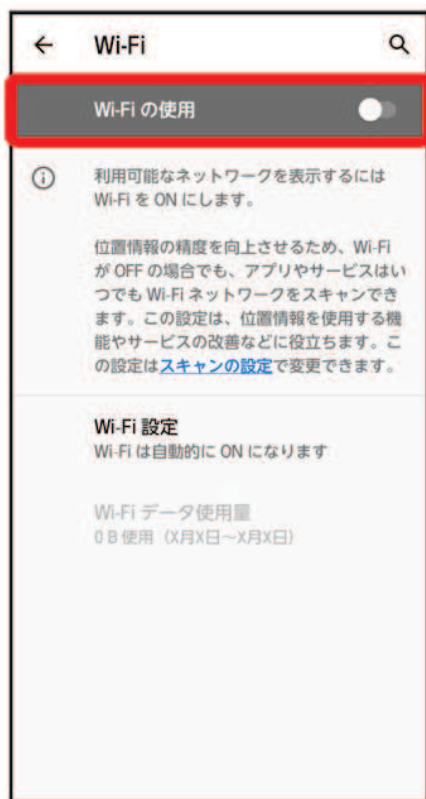
Wi-Fi



 Wi-Fi設定画面が表示されます。

4

Wi-Fi の使用(表示)



 Wi-Fiが有効になります。

- Wi-Fi の使用をタップするたびに、有効()／無効()が切り替わります。

5

アクセスポイントをタップ



6

パスワードを入力 ➡ 接続



接続が完了します。

- パスワードは、ご家庭用の無線LANルーターであれば、「WEP」や「WPA」、「KEY」などと、ルーター本体にシールで貼られている場合があります。詳しくは、ルーターのメーカーにお問い合わせください。また、公衆無線LANのパスワードはご契約のプロバイダーにご確認ください。
- セキュリティで保護されていないアクセスポイントのときは、パスワードを入力する必要はありません。

+ Wi-Fi利用時の操作

ホームネットワークなど高品質の保存済みネットワークが利用できるとき、自動的にWi-Fiを有効にするかどうかを設定する

Wi-Fi設定画面でWi-Fi 設定 → Wi-Fi を自動的に ON にする

- Wi-Fi を自動的に ON にするをタップするたびに、有効(●)／無効(○)が切り替わります。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

パブリックネットワークが利用できるとき、通知するかどうかを設定する

Wi-Fi設定画面でWi-Fi 設定 → パブリック ネットワークを通知する

- パブリック ネットワークを通知するをタップするたびに、有効(●)／無効(○)が切り替わります。

証明書をインストールする

Wi-Fi設定画面でWi-Fi 設定 → 詳細設定 → 証明書のインストール → 画面の指示に従って操作

ネットワーク評価プロバイダを利用するかどうかを設定する

Wi-Fi設定画面でWi-Fi 設定 → 詳細設定 → ネットワーク評価プロバイダ → プロバイダをタップ

Wi-Fiを使用したデータ使用量を確認する

Wi-Fi設定画面でWi-Fi データ使用量

接続中のアクセスポイントの状況を確認する

Wi-Fi設定画面で、接続中のアクセスポイントをタップ

 接続状況、電波強度、周波数、セキュリティなどが表示されます。

Wi-Fiのパスワードを他の機器と共有する

表示されたQRコードを他の機器で読み取ることにより、パスワードが共有されます。

Wi-Fi設定画面で、接続中のアクセスポイントをタップ → 共有

 QRコードが表示されます。

接続情報を手動で設定して接続する

1

ホーム画面で



2

ネットワークとインターネット



3

Wi-Fi



 Wi-Fi設定画面が表示されます。

4

Wi-Fi の使用(表示)



 Wi-Fiが有効になります。

- Wi-Fi の使用をタップするたびに、有効()／無効()が切り替わります。

5

ネットワークを追加



- ネットワークを追加の  をタップすると、QRコードのスキャン画面が表示されます。QRコードを読み取ると、パスワードが共有され、Wi-Fiに接続することができます。

6

ネットワーク名を入力



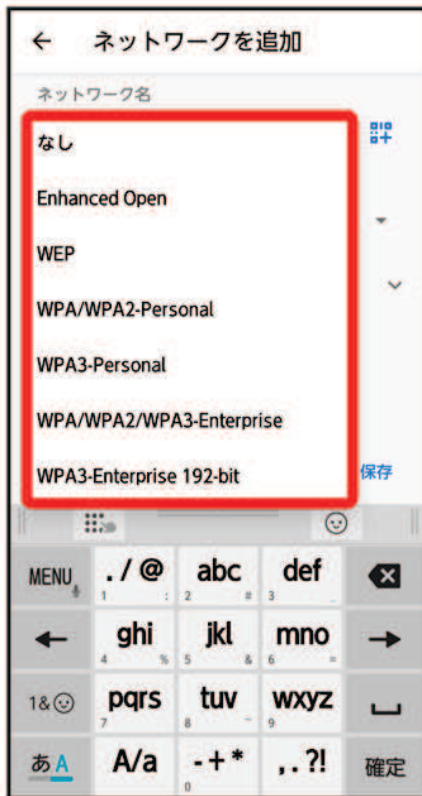
7

セキュリティ欄をタップ



8

セキュリティをタップ



9

パスワード欄をタップ

← ネットワークを追加

ネットワーク名
XXXXXXXXXX

セキュリティ
WEP

パスワード

☐ パスワードを表示する

キャンセル 保存

MENU . / @ abc def
1 2 3
← ghi jkl mno →
4 5 6
1 & ☺ pqrs tuv wxyz
7 8 9
あ A A/a - + * , . ? ! 次へ
0

10

パスワードを入力



11

保存

← ネットワークを追加

ネットワーク名
XXXXXXXXXX

セキュリティ
WEP

パスワード
.....

☐ パスワードを表示する

キャンセル 保存

接続が完了します。

- セキュリティで保護されていないアクセスポイントのときは、パスワードを入力する必要はありません。

接続中のアクセスポイントを削除する

1

ホーム画面で



2

ネットワークとインターネット



3

Wi-Fi



 Wi-Fi設定画面が表示されます。

4

接続中のアクセスポイントをタップ



5

削除



 接続中のアクセスポイントが削除されます。

- アクセスポイントを削除すると、再接続のときにパスワードの入力が必要になることがあります。

保存したアクセスポイントを削除する

1

ホーム画面で 



2

ネットワークとインターネット



3

Wi-Fi



 Wi-Fi設定画面が表示されます。

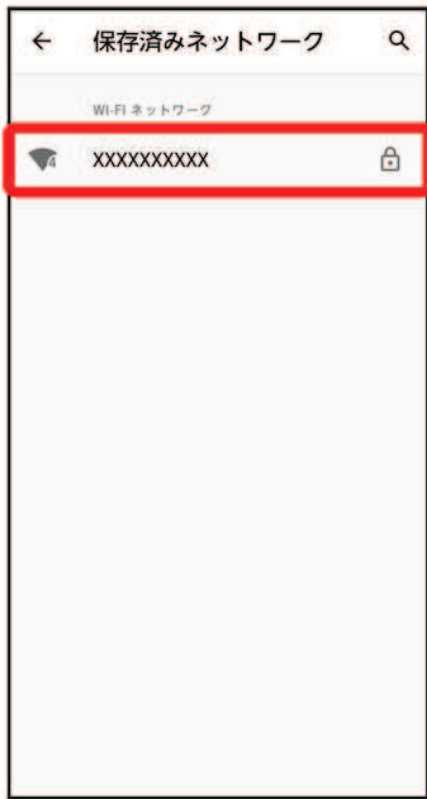
4

保存済みネットワーク



5

削除したいアクセスポイントをタップ



6

削除



🚩 アクセスポイントの削除が完了します。

Wi-Fi Directを利用する

Wi-Fi Directを利用すると、アクセスポイントやインターネットを経由せずに、ほかのWi-Fi Direct規格対応機器と、簡単にWi-Fi接続することができます。

1

ホーム画面で   ネットワークとインターネット



2

Wi-Fi ➡ Wi-Fi の使用 ( 表示)



Wi-Fiが有効になります。

- **Wi-Fi の使用**をタップするたびに、有効()／無効()が切り替わります。

3

Wi-Fi 設定



4

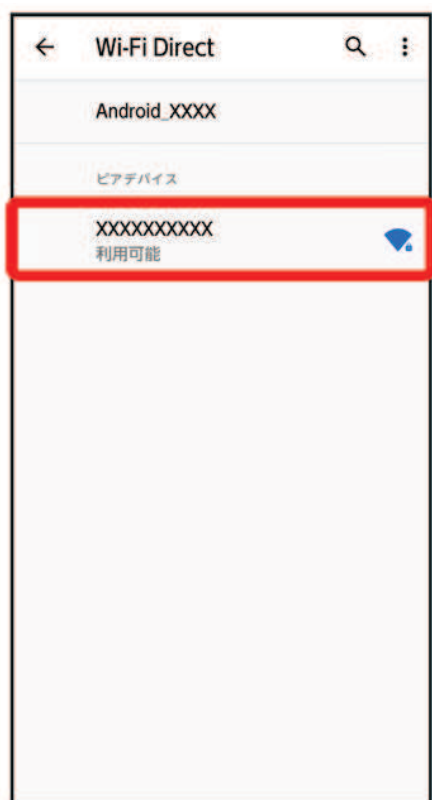
詳細設定 ➡ Wi-Fi Direct



 Wi-Fi Direct設定画面が表示されます。

5

接続する機器をタップ



6

相手機器で接続を承認

 Wi-Fi Directで接続されます。

- 一定時間接続の承認がなかった場合、接続の要求が解除されます。
- 接続済みの機器をタップ  **OK**と操作すると、接続を停止できます。

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®対応の携帯電話などと接続して通信を行ったり、ヘッドセットなどのハンズフリー機器と接続して利用できます。

- ↓ Bluetooth®機能でできること
- ↓ Bluetooth®機能を有効にする
- ↓ Bluetooth®機器をペア設定する
- ↓ ペア設定済みのBluetooth®機器と接続する
- ↓ Bluetooth®でデータを受信する
- ↓ Bluetooth®でデータを送信する

? こんなときは

Q Bluetooth®機能を利用できない

A 機内モードを設定していませんか。機内モードを設定すると、Bluetooth®機能は無効になります。機内モードを設定したあと、再度Bluetooth®機能を有効にすることができます。

! Bluetooth®機能利用時のご注意

送受信したデータの内容によっては、互いの機器で正しく表示されないことがあります。

Bluetooth®機能でできること

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機能などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。次のようなことができます。

機能	説明
オーディオ出力	ワイヤレスで音楽などを聴くことができます。
ハンズフリー通話	Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器でハンズフリー通話ができます。
データ送受信	Bluetooth®機器とデータを送受信できます。

Bluetooth®機能を有効にする

1

ホーム画面で



2

接続済みのデバイス



3

接続の設定



4

Bluetooth



 Bluetooth®設定画面が表示されます。

5

OFF(表示)



 Bluetooth®機能が有効になります。

- ON/OFFをタップするたびに、ON()／OFF()が切り替わります。

ほかの機器で表示される本機の名前を変更する

Bluetooth®設定画面で **デバイス名**  **名前を入力**  **名前を変更**

- 「Bluetooth」がONのときに変更できます。

Bluetooth®機能利用時のご注意

接続について

本機は、すべてのBluetooth®機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。また、ワイヤレス通話やハンズフリー通話のとき、状況によっては雑音が入ることがあります。

データ送受信について

送受信したデータの内容によっては、互いの機器で正しく表示されないことがあります。

Bluetooth®機器をペア設定する

近くにあるBluetooth®機器を検索し、本機にペア設定します。ペア設定したBluetooth®機器には簡単な操作で接続できます。

- あらかじめ、ペア設定するBluetooth®機器のBluetooth®機能を有効にしておいてください。

1

ホーム画面で 



2

接続済みのデバイス



3

新しいデバイスとペア設定する



「使用可能なデバイス」欄に、近くにあるBluetooth®機器が表示されます。

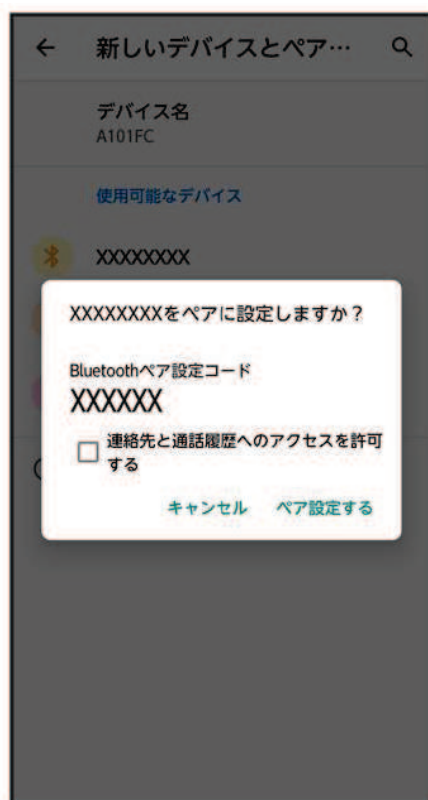
4

ペア設定する機器をタップ



5

以降は、画面の指示に従って機器を認証



 Bluetooth®機器が本機に登録されます。

- ペア設定する機器によって、認証方法が異なります。

ペア設定済みのBluetooth®機器と接続する

1

ホーム画面で   接続済みのデバイス



 接続済みのデバイス画面が表示されます。

2

接続する機器をタップ



 タップした機器と接続されます。

ペア設定済みのBluetooth®機器利用時の操作

ペア設定した機器の名前を変更する

接続済みのデバイス画面で、ペア設定した機器の     名前を入力  名前を変更

ペア設定を解除する

接続済みのデバイス画面で、ペア設定した機器の   削除  このデバイスとのペア設定を解除

Bluetooth®でデータを受信する

1

ステータスバーを下にフリック



 通知パネルが表示されます。

2

承諾